

みんなの声

1 opinion/idea/proposal/recommendation

「まちなみ清爽隊」というボランティア活動に参加しているが通信費その他で費用がかかるので県でバックアップしてほしい。

2005/11/14/フリーダイヤル/盛岡市

ボランティアで違反はり紙の撤去をしてくださっている方々に負担をかけないように、今後とも撤去に必要な道具の配布等で配慮していきたいと考えています。

2 opinion/idea/proposal/recommendation

県内すべてのいたずら書きを消す事業を県で行ってほしい。

2005/11/14/フリーダイヤル/盛岡市

いたずら書きはいろいろな対象にわたり、その所有、管理者も多種多様になること、また財産権の面からも、県としていたずら書きを消す事業を実施することは難しいと考えています。

3 opinion/idea/proposal/recommendation

県内県営住宅の収入申告書の回収の仕方を個人情報が出ることのないようなやり方に改善してほしい。

2005/11/4/フリーダイヤル/盛岡市

収入申告書及び関係書類の提出に当たっては、地方振興局土木部から入居されている方に対して、管理人に提出するか、または郵送等により直接地方振興局土木部に提出するよう文書でお願いしています。

県としては、今後も管理人を通じた提出方法が続けていく予定ですが、直接地方振興局土木部に提出する方法があることも十分に周知していきます。

なお、管理人は県が非常勤職員として任命していることから、守秘義務があります。今後とも、収入申告の個人情報の管理の徹底を図っていきますので、ご理解いただきたいと思います。

4 opinion/idea/proposal/recommendation

国道 342 号は、道路が狭いことによる、車両のすれ違いが困難な場所の改良、スノーシェルターの設置、雪崩防止策の増設などの改良が必要であると考えている。

県では、現在整備計画の 6 箇所での改良で終了としようとしているが、当会としては 18 箇所での改良が必要な場所があると考えている。

是非、改良をお願いする。

2005/11/14/文書/一関市

一般国道 342 号は、一関市真湯から須川までの約 15km 区間が幅員狭小でカーブが連続していることから、これまでも様々な整備を進めてきたところです。

平成 8 年度までに、真湯から 1 km ほど須川側の地点で延長約 300m の区間を 2 車線に改良し急カーブを解消したほか、冬期通行止め解除後における雪崩発生を防止するため、危険性が高い箇所から継続的に雪崩予防柵の設置を行っています。

現在、改良については、オーレン付近で延長約 350m の区間の整備を実施中であり、平成 18 年度以降は、特に狭隘な 7 箇所についての視距改良等、局所的な改良を計画しています。

また、雪崩予防柵については、平成 17 年度は 30 基程度の設置を予定しており、平成 18 年度以降も増設を計画しています。

なお、スノーシェルターの設置についてですが、当該区間は県内有数の豪雪地帯であり、交通安全確保が困難なことから冬期閉鎖していること、1 車線の狭隘な道路で拡幅が難しいこと等から、雪崩予防柵の設置等で対応しているものです。

御提言の 18 箇所のうち 3 箇所については、県が平成 18～19 年度に整備する計画に取り込むこととしています。また、その他の箇所については、現在取り組んでいる箇所の整備効果及び県全体の道路整備計画の中で公共事業予算の動向をも見極めながら検討していきますので、御理解をお願いします。